

# ※計画段階の保健事業です。

資料 3

## 1 国民健康保険脳ドック事業

- ・脳疾患の早期発見、特に脳卒中の防止のため、30歳以上の国保被保険者が山口労災病院で脳ドックを受診する費用2万7,000円のうち、85%の2万3,000円を助成する。
- ・定員50名（病院と協議中）
- ・その年度分の助成を一斉受付して対象者を決定することとし、希望が多い場合は抽選とする。
- ・脳ドック受診費用の85%を助成することで、受診促進を図る。  
（受診者の自己負担額：4,000円）
- ・脳疾患の早期発見による医療費の適正化

※今後、小野田医師会及び厚狭郡医師会並びに市内部における調整が必要

[予算要求額]

115万円（助成金：2万3,000円×50名）

※財源：保険料、特別調整交付金

[県内市の状況]

保険者	内容	国保負担割合
下関市	人間ドック、脳ドック	約70%
宇部市	脳ドックのみ	約80%
山口市	人間ドック、簡易脳ドック	80%
防府市	人間ドック〔頭部(脳)検査は人間ドックの任意検査〕	90%
下松市	脳ドック、簡易脳ドックのみ	約80%
岩国市	人間ドックのみ	80%
光市	未実施	—
柳井市	人間ドック（脳ドックは人間ドックの任意追加検査）	70%
美祢市	脳ドックのみ	約90%
周南市	人間ドック（40歳以上は人間ドックに脳検査を追加可能）	70%
萩市	人間ドック（脳検査は人間ドックのオプション）	80%
長門市	人間ドックのみ	85%

## ※計画段階の保健事業です。

資料 3

### 2 国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防事業

- ・糖尿病性腎症は他の疾患と比較し特異に医療費がかさむ疾患であり、その予防は医療費適正化を推進する上で喫緊の課題である。
- ・平成28年4月、日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省の連名で策定・公表された糖尿病性腎症重症化予防プログラムでは、保険者が課題分析し対策実施することを求めている。
- ・本市の糖尿病性腎症の高リスク被保険者を抽出し、重症化予防のための指導を行う。
- ・糖尿病性腎症の高リスク被保険者の抽出は市で行う。
- ・実績のある業者に委託し、電話・面談を通じた服薬・生活指導を行う。
- ・重症化予防を通じた医療費の適正化

※今後、小野田医師会及び厚狭郡医師会並びに市内部における調整が必要

[予算要求額]

314万1,000円（委託料：288万円×1.08＝311万400円、消耗品費：3万円）

※財源：保険料、特別調整交付金

[県内市の状況]

保険者	事業の実施
下関市	実施
宇部市	実施
山口市	実施
防府市	実施
下松市	未実施
岩国市	実施
光市	実施
柳井市	実施
美祢市	未実施
周南市	実施
萩市	実施
長門市	実施